

令和5(2023)年度 栃木県

# 教育研究発表大会

2024年1月26日(金)・27日(土)

オンライン  
(Zoom配信)開催



会場 栃木県総合教育センター

県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究の成果等を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に資する。

## 伸ばそうとちぎの教育力

すべては明日を担う子どもたちのために

1/27<sup>±</sup>

第2部 教育講話Ⅰ

GIGAスクール  
時代の授業改善

玉川大学大学院  
教育学研究科 教授

久保田 善彦 氏



1/27<sup>±</sup>

第3部 教育講話Ⅱ

探究授業の  
創り方

早稲田大学大学院  
教育学研究科 教授

田中 博之 氏



各部会における指導助言等

宇都宮大学

教授 青柳 宏 氏  
教授 川島 芳昭 氏  
准教授 司城紀代美 氏  
助教 田村 岳充 氏  
准教授 出口 明子 氏  
教授 人見 久城 氏  
教授 和井内良樹 氏



1/26

金

1部

9:50~11:30

- 生涯学習部会
- 学校安全部会

2部

12:50~14:30

- 人権教育部会
- SDGsの視点からの  
学習活動研究部会
- 学力向上部会

3部

15:10~16:50

- 外国語教育部会
- 道徳教育部会
- 情報教育部会

1/27

土

1部

9:50~11:30

- ICTを活用した  
授業づくり部会(小・中)
- STEAM教育部会
- 児童・生徒指導部会

2部

12:50~14:30

- 【教育講話Ⅰ】GIGA  
スクール時代の授業改善
- 教科における探究部会(高)
- 特別支援教育部会

3部

15:10~16:50

- 校内研修部会
- 【教育講話Ⅱ】  
探究授業の創り方
- 幼小連携部会

お知らせ

- Web会議ソフト「Zoom」により参加できます。
- 申込をされた方に、参加方法の詳細について、大会が近付きましたらメールでお知らせします。
- 実施に関する変更等がある場合は、当センターWebサイトのトップページに、お知らせを掲載します。

参加申込方法

栃木県総合教育センターWebサイト  
<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>  
より、画面の指示に従ってお申込みください。  
令和6(2024)年1月19日(金)までとなります。



▲お申込みは  
こちらから

問合せ先

栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(栃木県総合教育センター研究調査部内)  
TEL:028-665-7204 FAX:028-665-7303 e-mail:happyo@tochigi-edu.ed.jp

主催 栃木県教育委員会・栃木県教育研究所連絡協議会・宇都宮大学共同教育学部・宇都宮大学教職センター  
後援 栃木県小学校長会・栃木県中学校長会・栃木県高等学校長会

<p><b>1 生涯学習部会</b> 生涯学習・社会教育のさらなる推進に向けて ～社会教育指導者として今後注力すべきこと～</p>	<p><b>2 学校安全部会</b> 学校の安全について考える</p>
<p>◆発表 市町の社会教育指導者の活動の実態とは 総合教育センター生涯学習部 副主幹 柏崎 友洋</p> <p>◆座談会 生涯学習・社会教育のさらなる推進に必要なこととは 那須町教育委員会生涯学習課 社会教育主事兼学校教育課指導主事 大森 誠 佐野市教育委員会生涯学習課 社会教育係長(副主幹・社会教育主事) 生形 和彦 日光市立今市第二小学校 地域コーディネーター 中里 美香 本座談会 コーディネーター:総合教育センター生涯学習部 部長 井上 昌幸</p> <p>◆指導助言 県教委事務局生涯学習課 ふれあい学習担当 主幹 吉田 正道</p>	<p>◆発表① 自らの命を守り抜き、安全で安心な生活や社会を実現するために主体的に行動する態度の育成を目指して ～令和5(2023)年度学校安全総合支援事業の取組～ 県教委事務局学校安全課学校安全担当 副主幹 佐藤 隆文 さくら市教育委員会学校教育課 副主幹兼指導主事 根本 広昭</p> <p>◆発表② 県内高等学校における組織活動の現状と課題 ～高信頼性組織理論(Weick and Sutcliffe)の視点から～ 生活文化スポーツ部スポーツ振興課 競技力向上担当 副主幹 小松 雅彦</p>

<p><b>3 人権教育部会</b> 日々の教育活動に生かす 人権教育の実践</p>	<p><b>4 SDGsの視点からの 学習活動研究部会</b> 持続可能な社会の創り手となる 資質・能力の育成を目指して</p>	<p><b>5 学力向上部会</b> 確かな学力の育成を図るための 取組</p>
<p>◆発表① 豊かな人間性や自尊感情を育成する 人権教育 ～互いの違いやよさを認め合い、相 手の気持ちを考えて行動できる児童 の育成～ 益子町立益子小学校 教諭 小森 大樹</p> <p>◆発表② 人権教育を基盤とした「性の多様性」 の授業実践と学校全体での取組に ついて 那須塩原市立黒磯中学校 教諭 藤田 綾子</p> <p>◆指導助言 県教委事務局教育政策課人権教育室 副主幹 山田 大介</p>	<p>◆説明 SDGsの視点からの学習活動の現状 と課題 ～栃木県内の学校を対象としたアン ケート調査に基づいて～ 栃木県連合教育会 宇都宮大学共同教育学部 准教授 出口 明子</p> <p>◆発表 小・中・高・特別支援学校の調査結果 栃木県連合教育会 宇都宮市立平石北小学校 教諭 渡辺 一博 那須塩原市立厚崎中学校 教諭 岡部 文弥 県立さくら清修高等学校 教諭 加藤 史幸 県立南那須特別支援学校 教諭 上田 美幸</p> <p>◆本部会のまとめ 栃木県連合教育会 宇都宮大学共同教育学部 准教授 出口 明子</p>	<p>◆説明 本県の学力向上に向けた取組について 県教委事務局義務教育課学力向上推進担当 指導主事 酒徳 知佐子</p> <p>◆発表① 学年をつなぎ、学校全体で目指す授 業改善の取組 市貝町立小貝小学校 教諭(学力向上推進リーダー) 山口 剛</p> <p>◆発表② 教科をつなぎ、同僚性を高める授業 づくり 県教委事務局義務教育課学力向上推進担当 学力向上コーディネーター 金澤 長年</p> <p>◆指導助言 宇都宮大学大学院教育学研究科 教授 人見 久城</p>

<p><b>6 外国語教育部会</b> 外国語教育における小・中・高の連携</p>	<p><b>7 道徳教育部会</b> 道徳教育の充実に向けて</p>	<p><b>8 情報教育部会</b> 今年度の教育DX推進研究校における取組について</p>
<p>◆説明 小・中学校及び高等学校の学びをつなぐ工夫 ～令和5(2023)年度英語教育連携プログラム開発研修から～ 県教委事務局義務教育課指導担当 指導主事 福田 俊彦</p> <p>◆発表 英語教育連携プログラム開発研修実践報告 上三川町教育委員会教育総務課 主幹兼指導主事 渡辺 友見子 県立宇都宮南高等学校 教諭 川島 美咲</p> <p>◆指導助言 宇都宮大学大学院教育学研究科 助教 田村 岳充</p>	<p>◆発表① 「考え、議論する道徳」に向けた授業デザインの工夫 栃木市立大平西小学校 教諭 相良 夏美</p> <p>◆発表② 「共に磨き合い、高め合い、豊かな心を育む道徳教育」を目指して 上三川町教育研究所 上三川町立上三川中学校 教諭 中里 真大 上三川町教育委員会教育総務課 課長補佐兼管理主事兼指導主事 多賀 充利</p> <p>◆指導助言 宇都宮大学大学院教育学研究科 教授 和井内 良樹</p>	<p>◆説明 教育DX推進研究校について 県教委事務局教育政策課教育DX推進室 ICT教育推進チーム 指導主事 宮崎 陽介</p> <p>◆発表① ICTを活用した授業改善と業務改善への取組について 県立佐野高等学校 教諭 小森 康平 県立佐野高等学校附属中学校 教諭 桑谷 泰司</p> <p>◆発表② ICTを活用した新たなアプローチによる授業改善と業務改善をめざして 県立那須清峰高等学校 主幹教諭 高松 秀和</p> <p>◆発表③ 教育データの利活用による授業改善及び児童生徒の個人データ入力フォーム作成による業務負担軽減 県立栃木特別支援学校 教諭 五十嵐 俊介</p> <p>◆指導助言 宇都宮大学共同教育学部 教授 川島 芳昭</p>

<p><b>9 ICTを活用した授業づくり部会(小・中)</b> 資質・能力の育成を図る授業改善の推進</p>	<p><b>10 STEAM教育部会</b> 課題発見・解決に必要な資質・能力を育成するSTEAM教育の推進</p>	<p><b>11 児童・生徒指導部会</b> 児童生徒の主体的な成長・発達を支えるために～教師が大切にしたいカウンセリングマインド～</p>
<p>◆説明 小・中学校における教科指導充実に関する調査研究事業の概要 総合教育センター研究調査部 副主幹 武井 玲子</p> <p>◆発表① 小学校家庭科第6学年 「まかせてね 今日の食事」 ～一食分の献立作成を通じた実践～ 佐野市立あそ野学園義務教育学校 教諭 門澤 裕美</p> <p>◆発表② 中学校保健体育科第3学年 「バスケットボール」を通じた実践 日光市立今市中学校 教諭 大山 良皓</p> <p>◆指導助言 玉川大学大学院教育学研究科 教授 久保田 善彦</p>	<p>◆説明① 本県におけるSTEAM教育推進事業について 県教委事務局高校教育課指導担当 指導主事 濱野 由紀子</p> <p>◆説明② 未来をつくる力を育むSTEAM教育～「ワクワク」をカタチに!～ 株式会社Prima Pinguino 管理部 部長 小野 ひとみ</p> <p>◆発表① STEAM教育モデル校2年目の取組～総合的な探究の時間と校内研修の実践～ 県立真岡高等学校 主幹教諭 豊田 洋子</p> <p>◆発表② 学びのSTEAM化を目指して～探究活動の充実と教科横断的な学びに向けた取組～ 県立黒磯高等学校 主幹教諭 伊藤 純 教諭 金田 雅人</p>	<p>◆説明 児童生徒の理解を深めるカウンセリングマインド 総合教育センター教育相談部 指導主事 澁谷 景子</p> <p>◆発表① 生徒の心の声をきく 宇都宮市立星が丘中学校 養護教諭 水井 知美</p> <p>◆発表② きく力は語らせる力 県立宇都宮中央女子・宇都宮中央高等学校 教諭 井澤 英里</p>

<p><b>12 教育講話I</b> GIGAスクール時代の授業改善を考える</p>	<p><b>13 教科における探究部会</b> 教科における探究的な学習の充実を目指した取組(高)</p>	<p><b>14 特別支援教育部会</b> 児童生徒の障害の状態等に応じた指導・支援の充実</p>
<p>◆講話題 「GIGA スクール時代の授業改善」</p> <p>[講師] 玉川大学大学院教育学研究科 教授 久保田 善彦</p> <p>[講師紹介] 東京学芸大学大学院修士課程修了後、公立の小・中学校教諭として勤務。上越教育大学大学院修士課程、兵庫教育大学大学院連合大学院博士課程を修了後、上越教育大学大学院、連合大学院博士課程、宇都宮大学大学院を経て、2019年4月より現職。 著書に『テンプレートでわかる算数・理科のクラウド活用』『GIGA スクールで実現する新しい学び』ほか、多数。</p>	<p>◆説明 総合教育センター研究調査部 副主幹 齊藤 真史</p> <p>◆座談会① 普通科目における探究的な学習 県立宇都宮女子高等学校 教諭 (地理歴史・公民科) 岡 慎太郎 県立大田原高等学校 教諭 (理科〈物理〉) 藤原 和人 県立足利高等学校 教諭 (理科〈化学〉) 須永 穂積 県立宇都宮高等学校 教諭 (保健体育科) 高橋 伸也 コーディネーター:早稲田大学大学院教育学研究科 教授 田中 博之</p> <p>◆座談会② 専門科目における探究的な学習 県立今市工業高等学校 教諭 (工業科) 齋藤 茂紀 県立宇都宮白楊高等学校 教諭 (農業科) 安江 彩子 県立宇都宮商業高等学校 教諭 (商業科) 小林 彩子 コーディネーター:早稲田大学大学院教育学研究科 教授 田中 博之</p>	<p>◆発表① 通常の学級におけるインクルーシブ教育システムの推進 佐野市教育センター 佐野市立天明小学校 教諭 竹之内 朝恵 佐野市立城北小学校 教諭 大野 彰子 佐野市立石塚小学校 教諭 青木 良介 佐野市立田沼東中学校 教諭 小宮 博美 佐野市立あそ野学園義務教育学校 教諭 金田 なつき</p> <p>◆発表② 指導・支援に生かす個別の指導計画にするために 総合教育センター教育相談部 指導主事 吉江 恵美</p> <p>◆指導助言 宇都宮大学大学院教育学研究科 准教授 司城 紀代美</p>

<p><b>15 校内研修部会</b> 教員が主体的・協働的に取り組み、同僚性を高める校内研修の在り方</p>	<p><b>16 教育講話II</b> 教科における探究的な学習の在り方について考える</p>	<p><b>17 幼小連携部会</b> 幼小の円滑な接続のために ～架け橋期の教育の充実を目指して～</p>
<p>◆説明 宇都宮大学教職大学院の取組について 宇都宮大学大学院教育学研究科 教授 和井内 良樹</p> <p>◆発表① 同僚性を高める職場づくりの構築 ～SWOT分析を生かした取組～ 高根沢町立阿久津小学校 教諭 鈴木 光輝</p> <p>◆発表② 生徒の視点に立ったカリキュラム・マネジメント～生徒の学びを多面的にとらえ、主体性や探究心を引き出す授業構想を通して～ 日光市立今市中学校 教諭 石塚 賀子</p> <p>◆発表③ 深い学びの実現のための授業デザイン～児童理解と教材研究の追究～ 宇都宮市立宝木小学校 教諭 郷間 裕之</p> <p>◆指導助言 校内研修のさらなる充実に向けて 宇都宮大学大学院教育学研究科 教授 青柳 宏</p>	<p>◆講話題 「探究授業の創り方」</p> <p>[講師] 早稲田大学大学院教育学研究科 教授 田中 博之</p> <p>[講師紹介] 大阪大学人間科学部卒業後、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程在学中に大阪大学人間科学部助手となり、その後大阪教育大学専任講師、助教授、教授を経て、2009年4月より現職。 著書・編著書に『高等学校探究授業の創り方』『実践事例でわかる!タブレット活用授業』『アクティブ・ラーニング「深い学び」実践の学び』ほか、多数。</p>	<p>◆説明 架け橋期の教育の充実を目指して 総合教育センター幼児教育部 副主幹 天川 有紀</p> <p>◆発表① ・那珂川町ハッピースローププランにおける「こ小連携」について 那珂川町教育委員会学校教育課 課長補佐兼指導主事 石川 佳広</p> <p>・幼小の円滑な接続のために ～相互理解から互いのカリキュラムを見直して～ 那珂川町立馬頭小学校 教諭 細井 愛 那珂川町立ひばり認定こども園 教頭 高野 路康</p> <p>◆発表② 主体的に自己を発揮しながら学びに向かう子どもの育成 ～幼小の接続と低学年における学級経営を中心として～ 日光市立南原小学校 教諭 我妻 里恵</p>